

労働安全衛生の取組み



● 当社が安全を重視する理由

当社は、ビルメンテナンスを通じてオーナーさまが所有する物件の資産価値を維持・向上させることを重要な役割としています。そのためには、美観や清潔さの確保、設備の適切な維持管理に加え、作業に従事する従業員や協力会社の皆様の「安全」が欠かせません。

重大な労働災害は、被災されたご本人やご家族に深い悲しみをもたらすだけでなく、当該建物やオーナーさまに対する社会的評価にも大きな影響を及ぼします。

当社は、安全を単なる「手段」ではなく、「お客さまへ提供する価値そのもの」、そして「すべての業務の土台」と位置づけ、さまざまな安全衛生活動に取り組んでいます。





- 「当社基準(全社基準)」に基づくリスクアセスメント
- 危険箇所への対応

- 安全衛生協力会の活動
- 事故防止セミナーの開催
- 5S活動の推進
- 情報誌による啓発
- 健康増進活動

- ヒヤリ・ハット活動

- 再発防止策の立案、実施
- 再発防止策の検証



リスクアセスメント活動

- 「当社基準(全社基準)」に基づくリスクアセスメント
- 危険個所への対応

■ 当社基準(全社基準)に基づいた 安全な職場づくり

【全社基準】全1,081項目

- ・職業倫理
- ・法令適合
- ・契約履行
- ・協力会社管理
- ・労働安全衛生
(熱中症対策、メンタルヘルス、高齢労働者
安全対策、安全衛生
教育 ほか)

うち144項目

最重点項目として
徹底管理！！

当社では、品質管理のために職業倫理や法令適合、契約履行、協力会社管理、労働安全衛生など1,081項目に及ぶ基本的品質事項の当社基準(全社基準)を設けており、このうち144項目を最重点管理項目に位置付けています。

労働安全衛生では、熱中症やメンタルヘルス、高年齢労働者への安全対策、安全衛生教育、危険予知活動、安全パトロール、事故の再発防止などの項目を含み、安全衛生のリスクアセスメントに活用し、安全な職場づくりに努めています。

転倒防止対策について(1)

・ 転倒しやすい箇所の明確化①



危険箇所の抽出と改善

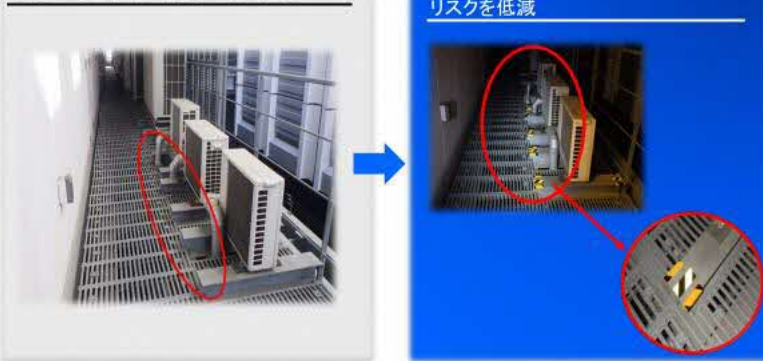
管理物件の作業箇所におけるリスクアセスメントを実施し、潜在する危険要因の抽出と改善を行っています。

左は対応の一例です。危険箇所を自ら改善し、転倒等の労働災害の未然防止に取り組んでいます。

転倒防止対策について(2)

・ 転倒しやすい箇所の明確化②

空調室外機設置架台(土台)が目立たず
踏きの恐れ、特に夜間は気付き難い





未然防止活動

- 安全衛生協力会の活動
- 事故防止セミナーの開催
- 5 S活動の推進
- 情報誌による啓発
- 健康増進活動



▲安全衛生巡視の様子



▲安全衛生講演会の様子

協力会社との安全活動

当社では、協力会社との連携強化および安全水準の向上を目的として、安全衛生協力会を組織しています。

協力会では、安全衛生巡視や外部講師による講演会を毎年実施し、関係法令や安全対策に関する情報共有を通じて、協力会社とともに安全意識の向上と労働災害の未然防止に取り組んでいます。

【これまで取り扱った講演テーマの一例】

- 最新の知見を基にした熱中症対策
- 高齢労働者の健康増進と転倒防止に向けて



■ 従業員と協力会社を対象とした 事故防止セミナーの開催

毎年3月に従業員と協力会社を対象とした事故防止セミナーを開催しています。

労働災害事例や事故防止のポイントを共有することで、安全意識の向上および安全基準の統一を図り、協力会社とともに安全文化の醸成に取り組んでいます。



【これまで取り扱った講演テーマの一例】

- ヒューマンエラーによる事故・災害防止
- 欠けていませんか？ビルメンの安全で最も重要な心構え！
- 事故防止に最も重要な心構え
～なぜ事故やミスが繰り返されるのか～

5S実践職場をご紹介します！

職場で大規模な取組みを実施したとのお知らせを品質管理推進部にいただき、取材してきました！その一部をご紹介します。

警備事業部
第二神奈川警備エリア
警備

【取材先】警備 安全衛生担当リーダー 〇〇〇〇さん（2019.1.16入社）

【きっかけ】元々整理整頓が好きで、入社当初から各防災センター内の「使用されていないものが保管されている」「整理が不十分なら出し内部」など、各所の整理をしたいと思っていましたが、担当業務に手いっぱいでは着手できませんでした。それでも、今年度に入り安全衛生担当の統括をやりたいと志願しました。ちょうど今年4月に着任した〇〇〇AMや〇〇〇警備長も5Sを推進する方針だったことも追い風となり、取組みに着手しました。

【どのように進めたか】当初は大規模に取組むつもりはなかったのですが、ビナフロント中央監視室の整理整頓を行ったところ同僚から好評だったことが嬉しく、各番館も実施しよう決意しました。まずは断捨離からスタートし、少しずつ各所の整理整頓や清掃を行い、申し送り簿にも毎回繰り返し、何をやったかを書いたりしました(笑)。同僚たちも協力的だったので助かりました。

【取組みの結果】職場全体の5Sに対する意識が高まり、自発的に整理整頓をしてくれるようになりました（ハンディー掃除機の購入や荷物置き場を設置した影響も大きいと想像）。また、緊急時必要なファイル等、何がどこにあるのかわかるようになったり、導線やスペースが確保され、置きや足をぶつけるなどの防止にもなりました。今後はこの取組みの習慣化と、さらに細部に手をかけていきたいと思います。



▲社内情報誌による紹介

5S活動推進職場の紹介

当社では5S活動を安全向上と職場環境改善の基盤と位置付け、全社的な推進を行っています。

5S活動が特に進んでいる職場について、社内報や動画で全社へ紹介することで、活動の波及・拡大を図っています。



▲推進者インタビュー動画の社内公開



▲見学会の様子

5S活動推進ポスターの作成

5S活動のキャッチフレーズを社内公募により決定し(「身につけよう 5Sは職場のサービス品質」)、5S活動推進ポスターを作成し全職場に掲示しています。

5S活動実践職場の見学会の実施

社内への5S活動推進のため、前頁で紹介した5S活動推進職場の社内見学会を実施しています。各部門の推進者による意見交換を行い、5S活動を推進しています。



▲5S活動推進ポスター



特集

新たに配属された仲間の安全を確保しよう！

新年度になりました。この時期は入社や異動により、新たなメンバーが配属された職場が多いことと思います。新たに配属された方への安全教育は法令で定められています。安全は品質の基礎です。万全の対策をもって、新メンバーを迎え入れましょう。

経験年数が少ないほど 被災率は高い

経験年数が少ない人の被災率が高そうなのは、想像できると思いますが、実に経験2年未満の被災率が約40%になっています。

1年以下 29%

1年超2年未満 8%

出典：厚生労働省

社内ルールや当該現場のルールを 伝えましょう

安全の確保には、執務の厳正が不可欠です。そのためにはルールをきちんと伝える必要があります。

服・履物は
正しく着用

両手が塞がった
状態で階段
を進行しない

指差呼称の
実施



職場にはさまざまな危険がある ことを説明しましょう

新たに仕事についた人は、職場にどのような危険が潜んでいるのか知らない場合が多いので、まずは労働災害の具体的な事例を紹介し、職場にはさまざまな危険があることを理解してもらいましょう。



(参考) 教育資料

厚生労働省では、職場の安全教育に役立つ各種資料を公開しています。ぜひ参考にしてみてください。

▼労働事例集

[厚生労働省「職場のあんぜんサイト」](#)

▼外国人労働者向け教材

[マンガ・動画教材](#)

▼警備業・商業用教育マニュアル

[未熟練労働者に対する安全衛生教育マニュアル](#)

みなさま、今日もご安全に！！

労働災害防止の意識向上

品質向上および労働災害防止に関する情報誌「OBSクオリティ」を品質管理推進部から毎月発行し、全従業員への啓発活動を実施しています。

安全第一の理念に基づき、作業に潜むリスクやその対策などの啓発記事を随時掲載し、全従業員への継続的な情報発信を通じて、安全文化の醸成に取り組んでいます。



■特定保健指導について (スポーツクラブプログラムの導入)

定期健康診断の結果、生活習慣病のリスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が期待できる対象者には、健康保険組合と協働で、特定保健指導を実施しています。

2025年度からは、さらなる充実を図るためスポーツクラブのプログラムを導入し、「一人ひとりの目標や理想の実現をサポートする」健康支援を行っています。

対象者自身が主体的に健康づくりに取り組める伴走型のサポートにより、生活習慣の改善、健康増進および生活習慣病の重症化予防に取り組んでいます。





■ウォーキングイベントへの参加による健康増進と体力維持

小田急健康保険組合主催のウォーキングイベントに、有志を募り参加しています。

歩数のランキングに応じた部内表彰制度を設け、参加意欲の向上を図り、所属員の健康増進と体力維持を通じた労働災害の未然防止に取り組んでいます。

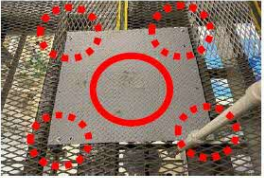
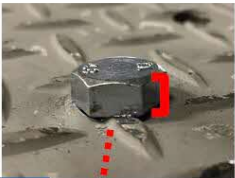


危険体験の共有活動

- ヒヤリ・ハット活動

ビルメンテナンス業
ヒヤリ・ハット報告シート 2

担当者使用欄	
会社名	株式会社小田急ビルサービス

タイトル	点検時の歩廊にて転倒リスク根絶
説明・イラスト・写真	
改善前:	
・転倒注意掲示無し。 ・袋ナット部高さ約1cm	
 	
改善後:	
・転倒注意掲示及びトラテープにて注意喚起 ・ボルトナット高さ約5mm	
 	
・注意掲示拡大及びボルトナット養生	
 	
効果・結果	
一目で注意箇所が認識できるようになり、四隅のボルトナットへもトラテープ養生を実施して、段差もほぼない状態になった。結果、転倒リスクが激減した。	

※先にシート1を記入し、スペースが足りない場合にシート2をご使用ください。

ヒヤリ・ハット事例の収集と共有

毎年4月～6月にかけて、東京ビルメンテナンス協会が行っている募集にあわせて、社内の各部門からヒヤリ・ハット事例を収集しています。

また、集まった事例は協会に応募し、令和5、6、7年では連続で入選を果たしています。





再 発 防 止 活 動

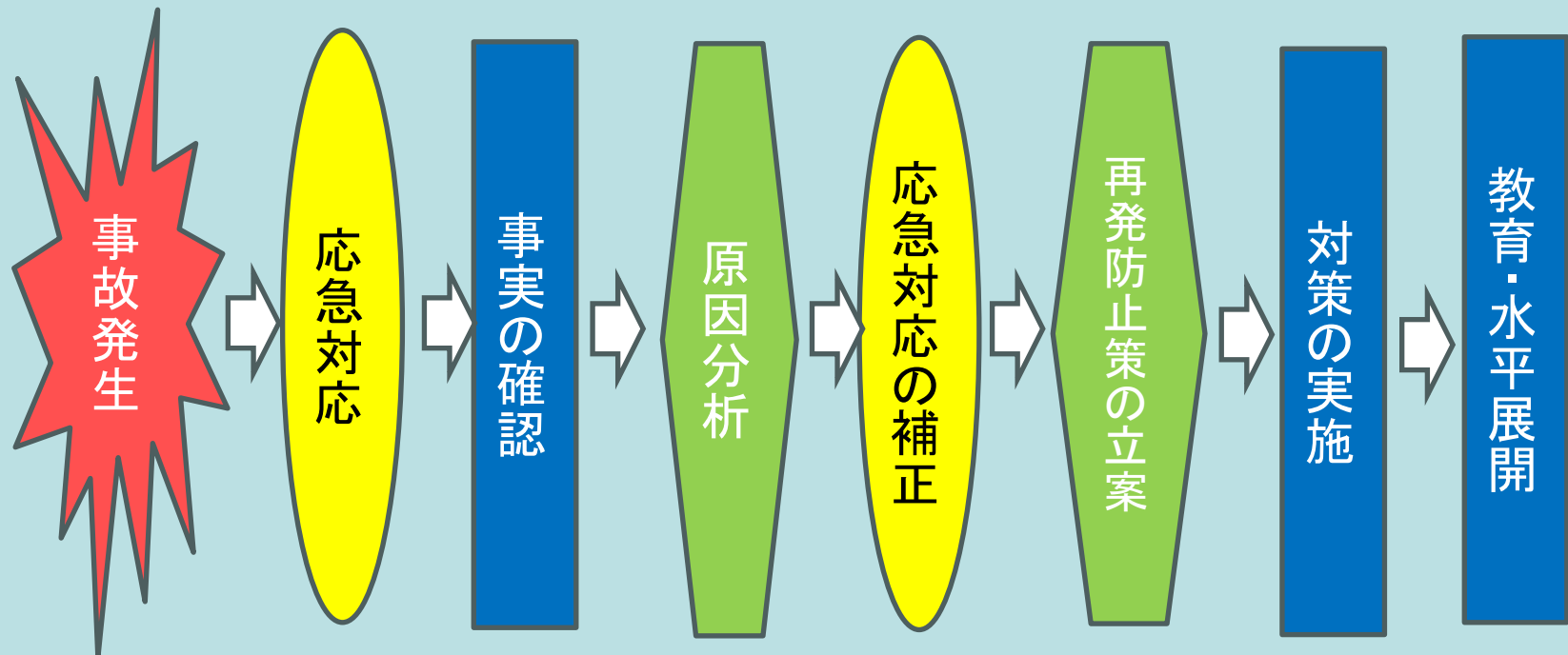
- 再発防止策の立案、実施
- 再発防止策の検証

再発防止策の立案、実施

再発防止策の立案、実施にあたっては、三現主義(現場、現物、現実)に則り、4M分析(人、設備・道具、方法、材料・環境)などの手法で真因分析を行い、真因に対しての対策を考え、責任者や期限、確認方法を決め対策を実施します。

その後、社内への再発防止策の共有と安全教育を実施します。

再発防止策の立案、実施フローの一例



再発防止策の検証

再発防止策の検証については、対策の効果の確認を安全パトロール等で実施します。

再考が必要な際は適宜対応することになりますが、効果が確認された場合は、必要により標準化し、リスクアセスメントに反映させます。

再発防止策の検証フローの一例

